

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅱ	NSF22_004	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
保坂 稔 他	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病治療論Ⅱでは、脳神経・感覚器・運動器・内分泌代謝疾患の症状・診断に必要な検査及び治療、予後について学ぶ。疾病治療論Ⅰで学んだ疾病治療論総論及び病理学・感染免疫学・栄養学・薬理学で学んだ知識などを活用し、症状や検査、治療が人体や生活に及ぼす影響について理解する。脳神経・感覚器・運動器・内分泌代謝疾患の臨床で経験する頻度の高い疾患を中心に、現在行われている診断・治療について理解する。				
学習上の助言	人体機能構造学と病理学の知識を組み合わせて考える授業を行うので、教科書のみではなく人体機能構造学と病理学の教科書も準備していただきたい。未知の疾患に遭遇したときの自己学習法を学ぶことを重視するので、知識のみではなく思考過程を学ぶこと。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;6&gt; 内分泌・代謝(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;7&gt; 脳・神経(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;10&gt; 運動器(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;12&gt; 皮膚(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;13&gt; 眼(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;14&gt; 耳鼻咽喉(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;15&gt; 歯・口腔(系統看護学講座)/医学書院</li> </ul> <p style="text-align: right;">「7冊指定」</p>				
参考書	・ハリソン内科学 第5版/日本語版監修:福井次夫、黒田清/メディカル・サイエンス・インターナショナル/2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	未知の事象に遭遇したとき自己学習して問題を解決する能力を身につける		HSU(2)(4)(5)、NS(2)(5)		
②	重要な疾患について基本的な特徴を説明できる		HSU(1)(2)、NS(1)(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	疾病治療論Ⅱ～Ⅳ総論看護学科において疾病治療を学ぶ意義	同時双方向型授業	疾病治療論を学ぶ意義について学習する。次回の講義範囲を予習する。		1
2	脳・神経系疾患(1) (担当:保坂) 主要疾患の概略(症状・徴候等)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
3	脳・神経系疾患(2) くも膜下出血、脳出血、脳梗塞などについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
4	脳・神経系疾患(3) 脳腫瘍、脊髄疾患などについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
5	脳・神経系疾患(4) パーキンソン病、ALS、多発性硬化症、ギランバレー症候群について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
6	内分泌代謝疾患(1) (担当:保坂) 主要疾患の概略(症状・徴候等)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
7	内分泌代謝疾患(2) 糖尿病について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
8	内分泌代謝疾患(3) 下垂体腫瘍、下垂体疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
9	内分泌代謝疾患(4) 甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
10	運動器系疾患(1) (担当:山本) 主要疾患の概略(症状・徴候等)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
11	運動器系疾患(2) 変形性関節症、関節リウマチなどについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
12	運動器系疾患(3) 脊椎疾患などについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
13	運動器系疾患(4) 骨折について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
14	感覚器疾患 (担当:樫本) 皮膚・眼・耳鼻咽喉科疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
15	歯・口腔疾患 (担当:樫本) 歯及び歯周疾患、口腔疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		1
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。				試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じてフィードバックの時間をしっかり確保する。
	②	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①						
	②						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目における連絡・調整を行う看護教員：吉岡睦代</li> <li>・当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっている。</li> <li>・科目担当者は医師免許を持った教員である。</li> <li>・授業時は、通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症のまん延状況などの社会情勢によって、シラバスは再度変更される可能性がある。</li> </ul>							